島根県看護協会情報誌

あかね雲

2021.01.20
NO.173

松江市 / 雪の松江城

CONTENTS

◆会長あいさつ……P1
◆理事会報告……P2
◆協会の動き……P2
◆職能委員会活動……P3
◆支部活動……P4
◆島根県看護協会創立40周年
記念式典を開催……P5
◆トピックス……P6
◆ナースセンターだより……P7.8
◆中学生を対象とした看護PRを実施……P9
◆新型コロナウイルス感染症に関する
活動記録写真募集！……P9

湧水

『看護の力で健康な島根を！　Nursing now』

島根県健康福祉部医療政策課看護職員確保グループ グループリーダー　藤井　麻由美

コロナ禍まっただ中で始まった2021年、それぞれの職場、職位において、誰もが想像していなかったプレッシャーを感じながら対応されていることと思います。チームワークを強化したいのに軋轢が生まれ、心が折れそうになることを経験されたこともあるのではないでしょうか。医療提供体制、看護職員確保の部門に身を置く私ですが、島根にある社会資源と人財の中でしか、前進はないことを改めて痛感しています。現場の第一線で指揮を執っている看護管理者や統括保健師、職能団体である看護協会の皆さんとの繋がりの大切さをひしひしと感じながら、さらに、一人ひとりが地域や職場において看護職としての役割を果たしていくための情報発信ができるよう、現場の声に真摯に向き合って進んでいきたいと思っています。

公益社団法人 島根県看護協会

新年のごあいさつ

公益社団法人島根県看護協会　会長　秦　美惠子

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

旧年中は、島根県看護協会の事業運営に、ご支援ご協力をいただきありがとうございました。令和2年は本会創立40周年の節目にあたり、11月1日に記念式典を行いました。戦後間もない頃から看護職能団体として先輩方が尽力された歴史を改めて辿りながら、これからの看護職能団体としての歩むべき方向性を考える好機となりました。このことが、理事会、委員会、支部会等を通して会員ひとり一人に届け、会員の皆さまと共に未来に向かって一歩ずつ歩みを進めたいと思います。

新型コロナウイルス感染が昨年1月に国内で初めて確認され、その後も感染拡大により私たちの社会生活に大きな影響を及ぼしました。今もなお収束の見通しが立たない状況ではありますが、医療従事者の皆さまには、強い使命感で業務を遂行して頂き、深く敬意を表します。県内においても年末年始にかけて新たな感染が続いて確認されています。私たちひとり一人が協力し合って感染防止を実施していかなければなりません。本会としても、皆さまへの情報発信や現場の状況把握等連携しながら一緒に対応してまいります。また、宿泊療養施設の看護職確保は、医療提供体制を維持するためにも重要です。潜在看護職の皆さん、病院からの応援看護師の皆さん、ご協力を引き続きお願いします。

さて、少子・高齢化、人口減少、生産年齢人口の減少の到来に対応するさまざまな動きがありますが、島根県はすでに全国の20年先にあると言われています。人生100年時代に向けて、看護のニーズも大きく多様化しています。それに応えるためには人材の確保と育成が重要な課題です。今年から看護の日は「看護職確保」をテーマに取り組みます。小学生や中学生等若い年代への働きかけ、さまざまな場で働く看護の魅力の発信、看護職自らが働きがいを感じながら働き続けられる環境作り、社会のニーズに応えるための看護基礎教育の年限延長等取組むべき課題は沢山ありますが、看護職能団体としての歩みを一歩ずつ進めて行きます。

昨年は、ナイチンゲール生誕200年の記念の年でした。島根県看護協会でも「看護の日」と「Nursing Now」記念事業を予定していましたが、新型コロナウイルスの拡大防止のため中止しました。今年は6月まで延長された「Nursing Now」と「看護の日」の記念事業を、新しい様式も取り入れながら5月9日に松江くにびきメッセを会場にて同時開催します。多数の皆さんのご来場をお待ちしています。

本会はこれからも、さまざまな活動を通して、会員・看護職への支援と県民の皆様の健康生活の支援を行ってまいります。今年もよろしくお願いします。

令和2年度 第4回理事会報告

【協議事項】

1　令和3年度重点事業について
2　令和2年度事業報告(委員会・協会事務局・ナースセンター)
3　令和2年度支部事業報告(7支部)
4　令和2年度日本看護協会委託事業等
5　令和3年度認定看護管理者教育課程
　(セカンドレベル・ファーストレベル)実施について
6　令和3年度日本看護協会インターネット配信研修
　「医療安全管理者養成研修」実施について
7　第14回島根看護学術集会の開催
8　令和2年度上期決算(資金収支計算書)の概要、監査報告
9　令和2年度島根県看護協会謝金等規則の変更
10　島根県看護協会創立40周年記念等に係る会員周知事業
11　令和3年度支部の予算配分額
12　令和3年度島根県看護協会職員の勤務形態の変更
13　令和3年度島根県看護協会職員の給与改定
14　令和3年度日本看護協会名誉会員の推薦について
15　令和3年度日本看護協会会長表彰受賞者の推薦について

【報告事項】

1　日本看護協会　第5回理事会
2　中国・四国地区法人会等
3　中国・四国地区職能委員長会
4　日本看護協会・都道府県看護協会担当者会議
5　令和3年度事業計画書及び予算要求書の作成・提出について
6　令和2年度島根県看護協会役員事務分掌
7　看護協会の動き
8　令和2年度支部別・職種別会員数
9　キャリナース登録状況

島根県看護協会の動き(2020年11・12月)

項目	月　日(曜)	実　施　事　項	出　席　者	場　所
日本看護協会	11月11日(水)	都道府県看護協会災害担当者会議	徳若理事他	WEB会議
	11月19日(木)	都道府県看護協会・都道府県訪問看護連絡協議会合同会議	秦会長他	WEB会議
	11月20日(金)	第4回地域における質の高い看護職の養成に関する特別委員会	秦会長	WEB会議
	11月25日(水)	都道府県看護協会看護労働担当者会議	秦会長	WEB会議
	11月25日(水)	母子のための地域包括ケア病棟モデル事業中間報告会	渋川副会長、徳若理事他	WEB会議
	11月26日(木)	日本看護協会理事会・法人会員会	秦会長	WEB会議
	11月27日(金)	日本看護協会理事会・法人会員会	秦会長	WEB会議
	12月 8日(火)	災害支援ナース派遣調整合同訓練(3日間)	徳若理事他	看護研修センター
	12月10日(木)	全国准看護師理事会議	石原准看護師理事	WEB会議
	12月14日(月)	看護職資格の活用基盤強化を考える会	秦会長、徳若理事	WEB会議
島根県看護協会	11月 1日(日)	島根県看護協会創立40周年記念式典	秦会長、理事他	ホテル一畑
	11月 5日(木)	福祉施設で働く看護師との情報交換会	秦会長、大越看Ⅱ理事他	ニューウェルシティ出雲
	11月10日(火)	COVID19宿泊療養施設における看護体制検討会議(出雲圏域)	秦会長、池田NC長	ニューウェルシティ出雲
	11月12日(木)	令和2年度上期監査会	秦会長他	看護研修センター
	11月19日(木)	常務理事会	秦会長他	看護研修センター
	11月24日(火)	COVID19宿泊療養施設における看護体制検討会議(松江・雲南圏域)	秦会長、池田NC長	サンラポーむらくも
	11月24日(火)	助産師出向支援導入事業調整会議	渋川副会長、徳若理事	益田赤十字病院
	11月25日(水)	訪問看護ステーション出向研修事業評価会議	原理事、中島	済生会江津病院
	11月26日(木)	訪問看護ステーション出向研修事業評価会議	原理事、中島	訪問看護ステーションチューリップ
	12月 1日(火)	進学ガイダンス	池田NC長	安来高校
	12月 3日(木)	理事会	秦会長他	看護研修センター
	12月 4日(金)	助産師出向支援導入事業調整会議	渋川副会長、徳若理事	県立中央病院
	12月 5日(土)	助産師職能交流会	秦会長、落合助産師理事他	看護研修センター
	12月 6日(日)	医療安全管理者交流会	原理事他	看護研修センター
	12月 9日(水)	看護基礎教育を考える会(第一回カタリバ、県大共催)	秦会長、徳若理事他	県立大学、WEB配信
	12月21日(月)	COVID19宿泊療養施設における看護体制検討会議(東部・西部)	秦会長、池田NC長	WEB会議
	12月22日(火)	訪問看護ステーション出向研修事業評価会議	原理事、中島	WEB会議 (協会、そよかぜの丘、済生会江津)
	12月23日(水)	訪問看護師養成講習会まとめレポート発表会・修了式	秦会長、池田NC長他	看護研修センター
	12月24日(木)	看護管理者のマネジメントスキルアップ交流会	秦会長、池田NC長他	看護研修センター
	12月24日(木)	訪問看護ステーション出向研修事業評価会議	原理事、中島	WEB会議 (協会、チューリップ、島大附属)

職能委員会活動

令和2年度　看護師職能Ⅱ委員会活動報告

看護師職能Ⅱ委員長　大越　美香

今年度の看護師職能Ⅱ委員会（介護・福祉関係施設・在宅等領域）の活動目標は「①協会の活動方針や重要事業を会員に周知し、現場の意見を集約する」「②在宅や介護施設等で働く看護職が考えるべきリスクについて、情報交流を行い意見集約・課題発見につなげる」としました。

10月4日に「暮らしの場で働く看護職が考えるべきリスク」と題して交流集会を開催し、グループホームの看護師・訪問看護師・訪問診療を行っている病院看護管理者の立場から実践報告をしていただき、参加者との意見交換を行いました。アンケートに「職能Ⅱ領域の対象はとても幅広いので、意見交換ができて学びになった」「職能Ⅱが何か知らなかったが、取り組みはとても意義があると思う」等の意見をいただき、看護師職能Ⅱ委員会を知ってもらう場となりました。

11月5日には「福祉施設で働く看護師との情報交換会」を開催し、島根県老人福祉施設協議会の看護師12名と職場環境改善について情報交換会を行いました。福祉施設では医師不在の中で看護職の判断力が求められること、看護職が多職種連携の要であること等、福祉施設の意見集約・課題発見につなげることができました。

12月12日には「看取り研修」を開催し、参加者の中には2回目の参加者や病院勤務看護師からは「看護師職能Ⅱとか区切らず、高齢者の看取り研修は必要」等の意見もいただきました。

これからも施設・クリニック・訪問等で働く看護職の皆様からのご意見をいただきながら、活動をしてまいります。

令和2年度　助産師職能委員会活動報告

助産師職能委員長　落合　永美

令和2年度の助産師職能委員会では、10月17日・18日に「新人助産師集合研修」を行ったところ、14名の参加がありました。参加者は将来のキャリアアップについて考えるよい機会となったようです。また、同月、保健師職能委員と合同で“母子に関わる保健医療福祉の現状と課題“について意見交換をしました。圏域により特徴があるものの、社会資源も増えており特定妊婦の支援のネットワークはできている。しかし、グレイゾーンの妊産婦の支援については課題があるなどの意見がありました。今後も保健師と協働で育児の支援体制を強化できるよう活動を行いたいと思います。

また、今年度はアドバンス助産師の初めての更新年であり、助産師外来や院内助産の開設状況や人材育成の現状と課題を知るため、分娩を取り扱っている県内14施設の助産師に対してアンケート調査を行いました。お忙しいところご協力ありがとうございました。結果の一部を12月5日に行われた助産師職能交流集会でお示ししました。新型コロナ感染拡大の状況下で助産師職能交流会の開催も可能か検討しておりましたが、日本看護協会常任理事の井本寛子氏には急遽リモートで参加していただきました。「助産師職能の現状と課題」と題して、産科混合病棟の状況、国から期待されている助産師の役割等について講演していただきました。行政からは健康福祉部医療統括監の谷口栄作氏から「島根県における周産期医療体制の現状と課題」について、松江赤十字病院の石原朱里さんから「院内助産開設にあたって」その経過を講演していただき、そのあと活発な意見交換を行いました。昨年度のこの交流会がきっかけとなり院内助産開設にチャレンジしたという松江赤十字病院石原さんの発表は参加者の興味を引きました。出向制度を利用したい、研修を受けたいけど時間や費用の面で負担感がある、院内に研修制度がないなど助産師のスキルアップのための課題について今後も取り組んでいきたいと思います。

支部活動

コロナ禍にこそ人とのつながりを大切に！

出雲支部長　和田　祐子

「出雲市での災害発生に備え医療処置を抱えながら地域で過ごす生活者への支援を考える」をテーマに、感染対策を徹底した上で活動交流会を開催出来ました。講師には出雲市役所保健師福間紀子氏、出雲保健所保健師土井久美子氏、出雲看護サービスセンター訪問看護認定看護師伊藤久美子氏をお迎えし、避難所運営や医療救護体制、在宅療養児・者の現状、訪問看護における災害対策について多方面から情報を得る機会となりました。災害要援助者リスト、災害時個別支援計画の作成や支援者との共有など、地域で行われている様々な取り組みを学ぶと同時に、在宅療養者の個別性が大きく、希望や状態に合わせた避難方法や、その人らしい過ごし方があり、課題も見えてきました。グループワークでは、病院の退院支援に災害時避難の視点を組み込んでいくこと、医療者と地域住民が協力して防災意識を共有し対話や訓練を積み重ね、生活を継続できるよう自助力・共助力を高めること等、視野を広げていく必要性が話し合われました。今年の交流会は、より地域へ目を向けた内容で、参加者の半数は訪問看護、行政、看護教育機関からで、災害に関する交流会を今後シリーズ化してほしいとの意見も聞かれ、交流の幅が広がり圏域のネットワークが強化されています。感染拡大から開催が危ぶまれる状況でしたが、フィジカルディスタンスはしっかりとりながら顔の見える関係づくりが今こそ大切であると感じます。地域住民に寄り添い「看護の力で健康な社会に」貢献できるよう支部活動に取り組んでいきたいと思います。

コロナ禍での支部活動

益田支部長　水津　聖子

今年度の益田支部活動は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、手探り状態でのスタートとなりました。

支部総会は、新旧の役員のみでの開催とし、前年度の事業・会計報告や今年度の事業計画・予算等は書面での報告としました。各市町のイベントが中止となり、まちの保健室の活動も中止となりました。

研修会については、例年3回開催してきましたが、今年度は支部総会後に予定していた第1回研修会を、緊急事態宣言発令の中、参加者の安全のため中止としました。その後、改めて10/31に第1回研修会「ナースの私が災害支援！～災害支援ナースについて～」を浜田医療センターのDMAT隊員で災害支援ナースの當田晶子先生を講師にお迎えし開催しました。開催に当たっては中止の基準を決め、会場を広い所に変更し、県看護協会の感染対策に沿って「研修受講確認書」を用い健康チェックを行いました。

内容は、災害や災害医療の基本的なことから、実際に経験された中でのお話まで多岐にわたるものでした。参加者は、災害支援ナースを知らないという人から実際に支援の経験がある人まで様々でしたが、それぞれが、CSCATTT（災害医療の基本原則）・心のケア、トリアージ、災害支援ナースについてなど学びがあり、ほとんどの人（96%）が今後に活かせると回答していました。

コロナ禍の厳しい状況が続く中、今後も会員の皆様のご意見を参考に、また各支部とも連携をとりながら支部活動に取り組んでいきたいと思います。

島根県看護協会
創立40周年

記念式典を開催

専務理事　徳若　光代

コロナ禍のなか、令和2年11月1日の午後からホテル一畑を会場として「創立40周年記念式典」を開催しました。当日は、新型コロナウイルス感染症の予防対策に十分配慮し、ご出席頂いた皆様のご支援・ご協力のもと無事に終了しました。記念式典は、秦美恵子会長のあいさつ、続いてご来賓の日本看護協会長の福井トシ子様、島根県知事の丸山達也様、松江市の星野副市長からのご祝辞を頂きました。また、ご来賓として、看護協会名誉会員、県行政、関係団体、看護教育機関、島根県議会等から16名のご出席を賜り、総勢約130名の出席を頂き盛大な記念式典を開催でき、主催者一同心から感謝申し上げます。

受賞者の表彰後のインタビュー

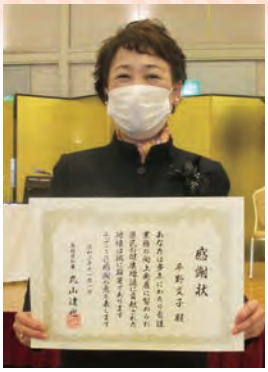
広報委員　岩田美津枝　山﨑純子　松田領子

丸山達也県知事から、看護業務の推進、向上、発展に寄与しその業績が顕著であった看護職19名の皆様に島根県知事感謝状が授与されました。

また、秦美恵子協会長からは、看護業務の推進、向上に努め県看護協会の発展に寄与された看護職22名の皆様に島根県看護協会長表彰状が授与されました。代表で表彰状を授与されたお2人にインタビューをしました。受賞者のインタビューを聴き、島根県の看護・保健・福祉の発展に尽くされた思いを聞き、これまでの看護協会のあゆみを振り返りつつ、これからの看護について考える良い機会となりました。

島根県知事感謝状

平野文子様
（元島根県立大学出雲キャンパス）



何十年働いてきた知験を自分たちでおしまいにするのではなくて、次につなげて未来をつくっていくことも受賞した私たちの役割だと思っています。

島根県看護協会長表彰

山本ひとみ様
（益田市保健センター）

栄誉ある賞をいただきましてありがとうございました。

これをきっかけに看護協会の活動分野にしっかり携わっていきたいと思います。

私たちの役割として若い世代の方に看護協会の存在と役割をしっかり伝えていくことが大事だと思っています。私たちの周りには本当に多くの看護師が頑張っているので、つながっていくことの大切さを伝えていきたい。

記念講演「看護の将来を展望する～過去から未来へ～」　日本看護協会会長 福井トシ子氏

広報委員　岩田美津枝　山﨑純子　松田領子

今後少子超高齢化・人口減少など社会の変化を迎える中で看護を取り巻く環境や役割は変わっていきます。記念講演では、健康寿命の延伸や効率性の高い医療体制の推進、多様性を受容する労働環境を整えていくことなど医療提供の今後の課題について分かりやすくお話いただきました。改めて自分の将来の看護の在り方を考えるよい機会となり、看護の専門性が発揮できるような関わりをしていきたいと思いました。

topics 特集 新型コロナウイルス感染症

島根の医療を看護の力で支えよう!

～島根県看護協会 宿泊療養施設の看護職確保への取組み～

島根県では、新型コロナウイルス感染症患者の増加に備え、軽症者や無症状者の宿泊療養施設（玉造国際ホテル・サンレイク・県立少年自然の家）を確保しています。入院が必要な重症者や重症化するおそれのある方に対し、しっかりと医療を提供するために、宿泊療養施設で働いていただける看護職が必要となっています。当会では島根県および日本看護協会と連携し、宿泊療養施設の看護職確保に向けた取り組みを行っていますのでご報告します。

取り組みの経緯

3月

ナースセンター
宿泊療養施設対応看護師大募集！
潜在看護師142名へ文書発送

只今募集中!

4月

島根県から4月20日付文書で協力依頼あり
・新型コロナウイルス感染症軽症者等の宿泊療養施設の看護職確保について
・宿泊療養施設の勤務調整に関すること

8月

軽症者等の宿泊療養施設における対応看護職員採用方法の検討
①県会計年度職員としての採用
②病院との委託契約

9月

日本看護協会「地域の医療提供体制確保のための看護職員の派遣調整事業」に申請し、業務委託契約締結

10月

下記事業実施スタート！
圏域別検討委員会・スキルギャップ研修開催

事業内容

検討委員会	
10/20	第1回 西部（浜田ワシントンホテル）
11/10	第2回 出雲（ニューウエルシティ出雲）
11/24	第3回 松江・雲南（サンラポーむらくも）
12/21	第4回 西部（WEB開催）
12/21	第5回 東部（WEB開催）

スキルギャップ研修	
11/16	島根県立少年自然の家
12/ 6	島根県済生会江津総合病院
12/20	島根県看護研修センター

◀検討会議

◀スキルギャップ研修

12月

ナースセンター
潜在看護師106名へ文書発送

COVD-19活動記録写真募集

【応募方法】あかね雲の末ページか
ホームページをご覧ください。

ナースセンターだより

看護管理者のマネジメントスキルアップ交流会

12月23日実施 50名参加

- 島根県勤務環境改善支援センター共催 -

コロナ禍で開催が危ぶまれましたが、看護研修センターを会場に、東京（講師）・隠岐島前（発表者）・出雲（参加者）をZoomでつなぎ、充実したオンライン交流会となりました。

看護研修センターの参加者スクリーン越しに意見交換

講演 「看護管理者が考えなければならない働き方改革・適正な労務管理」

講師 加藤看護師社労士事務所代表　看護師・社会保険労務士　加藤 明子氏

看護職確保定着のための取り組み紹介：4病院の看護管理者

「離島・へき地医療の看護師確保の取り組み」
隠岐島前病院　家中 ふみ代 氏

「勤務間インターバルと正循環への取組み」
出雲市立総合医療センター　安食 豊子 氏

「外国人看護師を採用して　多様性と協働」
出雲徳洲会病院　布野 文代 氏

「DiNQL データの活用と効果」
済生会江津総合病院　西藤 美恵 氏

スクリーン拡大写真

参加者の声

- 法律や制度を知っておく必要性やコミュニケーションの重要性を改めて学んだ。
- 伝える力、交渉力、私たちの腕の見せどころです。
- 他の病院の具体的な例を教えていただき、大変参考になった。
- 現場の問題の見える化も大事だと感じた。

第7回 福祉職場チャレンジ交流会を開催しました

日時：2020.11.17（火）会場：看護研修センター

※今年度は松江会場1か所での開催でしたが、活発な意見交換ができました。

参加者12名うち未就業11名

特別養護老人ホームゆめハウス 月坂看護係長

特老での看護師の役割は

- ○健康管理
- ○経過観察
- ○嘱託医との連携

介護スタッフには

- ○具体的に、細かく、平易な言葉で伝える

池田ナースセンター長

島根県の看護職の現状と看護職の働き方について

- ○ライフステージに応じた働き方で生涯現役を目指しましょう!!

感想

- 実際に働いている人の話が聞けて良かった。
- 50代以降も働き続ける看護職が多数いることに心強く感じた。
- 福祉の現場の実態を知ることができた。
- 老人福祉施設について、もっと知りたいと思った。

2020年度 訪問看護師養成講習会が終了しました

新型コロナウイルス感染拡大の影響ですべての研修がストップした中、本講習会は予定通り5月にeラーニングをスタートすることが出来ました。集合研修は予定より3ヶ月遅れたものの実習とともに実施でき、12月23日に受講生15名全員が無事修了されました。

受講生は訪問看護従事者が80%で最近は20代の若い方も増えています。今年は感染対策のため交流機会が少なく物足りなさがあったと思いますが、それぞれにすばらしいまとめレポートを発表されチャレンジ&ステップアップの姿勢に頭が下がりました。今後のご活躍を期待しています。

その人らしく過ごせるために私の出来る事

益田市医師会訪問看護ステーション　水津　芳子

訪問看護の事業所に就職して2年目になります。初めて訪問看護をする私は、少しでも訪問看護について学び、自信をもってケアをしたいと受講しました。

50代後半という事で遅いスタートでした。だからeラーニングの受講が出来るのかかなりの不安がありましたが、その分真剣に取り組みました。早朝や夕方時間を見つけて何回も受講して週末にはテストをし、修了書を頂いた時はとても嬉しかったです。

演習では、フィジカルアセスメントや急変時の対応など実践的な事を学び自分の自信に繋がりました。実習先では所長さんやスタッフの方々が笑顔で仕事をされているのを見て、その人らしく生活するためのケアについて学び勉強になりました。

この講習会で得られた知識、経験を生かして訪問看護をしていきたいと思います。関わったすべての皆さまに感謝しています。ありがとうございました。

「その人らしい生活」を支えたい

島根県看護協会　訪問看護ステーションおおだ　山崎　由佳

「その人らしい生活」を支えたいと考え、療養者や家族にとって信頼される訪問看護師を目指しています。転職した当初は、やる気とは裏腹に1人での訪問に対し、自信のなさから不安に感じる事が多々あり、信頼される事の難しさを感じていました。そこで、訪問看護に必要な保険制度や社会資源の知識をはじめ、看護技術やアセスメント能力を磨くため、本講習会の受講を希望しました。

eラーニングは自分のペースで学習でき、又、集合研修における体験学習や演習はすぐに活用できる内容が多く含まれているため、自信に繋げる事ができました。そして何よりも、同じ志を持つメンバーとの出会いは大きな励みとなりました。

まだ訪問看護初心者ですが、本講習での学びを活かし、更に経験を積んで心に寄り添える看護を行いたいです。

中学生を対象とした看護PRを実施

大田支部長　田中　弓子

昨年までは、高校生を対象として看護PRを実施していましたが、すでにほとんどの生徒が進路を決めているため、今年度は中学生を対象としたところ、邑智郡内の中学校のうち、4校から講演依頼がありました。将来地域医療を支える人材となり得る中学生に看護職を理解し、興味を持ってもらうために、看護職についての説明、看護職のやりがい、生徒が自分の心音を聴診する体験などを行いました。アンケート結果から、看護職になる方法や、看護職はやりがいのある仕事だということが理解できたとの意見があり、看護職に興味を持ったと答えた生徒は60%以上でした。先生からは、「地域の学校を卒業された看護師さんや、顔見知りの地元の病院の看護師さんからのお話で、生徒たちも看護職について、より興味を持つことができた。」と言っていただきました。

今回の講演では、保健師・助産師・看護師の仕事内容はもとより、看護師・准看護師・介護福祉士の資格の違いについて説明し、理解をしてもらうことができました。今後も、一人でも多くの中学生が看護職を目指してもらえるよう看護職の魅力を発信していきたいと思います。

新型コロナウイルス感染症に関する 活動記録写真募集!

世界的に多くの死者、感染者を出したCOVID-19。
この未曾有の出来事の中、皆さまの活動や取組み・工夫等を記録に残したいと思いますので、施設での活動の写真を募集します。
例)休憩室でディスタンスを確保したランチ風景
　施設出入り口での体温測定風景
　利用者さんのリモート面会風景　　など
　ご協力をお願いします。

【提出方法】

メールにて送信してください。(1施設5枚程度)
件名に「コロナ記録写真」と記載してください。
本文に以下の5点を記載してください。
①施設名　②担当者名　③連絡先
④施設名掲載の可、不可　⑤写真の説明

写真には施設名をつけて保存して送信してください。
データ形式はjpegで、エクセルやワードに張り付けずに送信してください。

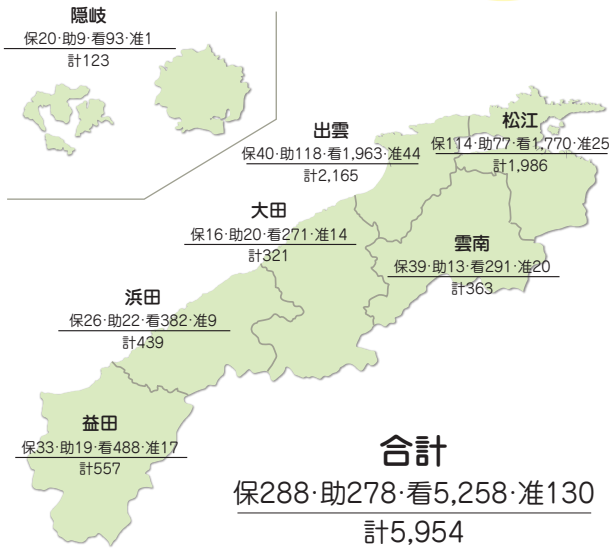
【注意事項】

○名札等、個人情報の映り込みにご注意ください。
○被写体に関する肖像権については提供者の責任において了承済のデータを提出してください。
○ご提供いただく写真に関しては、記録写真として協会へ保存するとともに、今後「あかね雲」やホームページ等で紹介させていただく予定です。

送信先
Mail:ns-center@shimane-kango.or.jp
TEL:(0852)27-8510 担当者:池田　栗谷　渡部.

支部別・職能別会員数(合計)

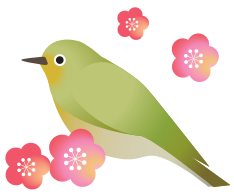
(令和3年1月24日現在)



合計
保288·助278·看5,258·准130
計5,954

編集後記

本格的な寒さが到来する中、新年を迎えました。
コロナウィルス感染拡大も懸念される中ではありますが、2021年も医療保健分野で活躍されている皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。



【発行日】令和3年1月20日　【発行責任者】秦　美恵子　【編　集】公益社団法人島根県看護協会
〒690-0049　松江市袖師町7-11　TEL.0852-25-0330　FAX.0852-25-3157
https://www.shimane-kango.or.jp　E-mail:shimakk@shimane-kango.or.jp